

## 平成27年度 第1回議会報告会 要望提言事項に対する回答(所管委員会別)

### 【総務・文教】

提言 市長は広く事業を拡大しているが、最終的に、市民の借金が増えないようにしてほしい。良いことは、他に先駆けて1番にやって欲しい。

答弁 最善を尽くして取り組んでいきたい。

提言 モーグルワールドカップについて、他国のチームに、もっと営業活動をすべきである。また、合宿希望があるなら、補助金などで応援すべきで、2年目以降を盛り上げるためには、予算も必要である。

答弁 来期審判棟を建設する予定である。県と協力し、さらなる盛り上がりを目指す。

提言 内陸線については、基金もあるうちに廃止するべきで、1人あたり、いくらかけて乗せているのか。「抜本的に見直す」と言ってから、既に何年にもなる。

答弁 廃止、存続問題については、基金も含めて検討していく課題と認識している。また、計算すると1人あたり料金に631円をプラスして乗せていることになる。

提言 秋田内陸線について、平成26年度は2億円を超える赤字となった。4者合意で、赤字が2億円を超えた場合「廃止を含め経営について抜本的な改革をする」としているが、沿線住民が過疎で、減少している現状では、観光客に乗ってもらうしかない。とすれば、本社機能を、新幹線が止まる角館に持ってくるのが最良策でないのか。何故、議会として、市に提言しないのか。

答弁 角館駅に本社機能を置くべきではないかという提言を数回受けている。沿線住民の人口減少に歯止めがかからない中、観光誘客のため本社機能移転も含めて、検討の必要性を感じている。しかしながら、移転費用や走行距離100キロの秋田内陸線における運行ダイヤの管理上、中間にある阿仁合駅にあるのが望ましいと考えている。

要望 内陸線については、市内でも考え方の温度差が激しい。田沢湖や角館地域ではいらぬという声も多い。確かに、実際に人口が減少する中で、代替交通としてのデマンドタクシーもできたため、内陸線の利用者が少なくなったことは事実。しかし、人が住んで生活していくうえで、路線があるとないとは、全く違う。市民に理解してもらいながら、存続してほしい。地元でも、県議会や市議会議長に陳情もしている。また、内陸線支援団体も自ら立ち上がり、寄付金を集め、新たな車両を買おうとしている。議員にも支援してほしい。また、路線を維持するために、会社には、他の事業にも取り組んでもらいたい。

答弁 会社も存続のため、観光・誘客等様々な努力をしており、評価できる部分も多い。市としても赤字の補填や料金等の助成をしている。

提言 道の駅構想があるようだが、余程の計算のうえでやらないと成功しない。

答弁 具体的な構想を持っている段階ではない。

提言 入湯税については、自己申告的部分もあり、正確な納税になっていないのではない  
か。税額をきっちり把握し、徴収できる体制を構築すべきだ

答弁 義務付けられている台帳確認をしているので問題ないと考えている。

提言 ふるさと仙北学の内容について、仙北市を代表していた歴代の仙北市選出の県議会  
議員名が全員載っていないことは、子どもの「ふるさと教育」として、如何なものか。

答弁 より良いものが作れるよう引き続き努力する。

要望 今年の2月に副市長が来た時には、集落センター前の舗装を「H27年度中にやりま  
す」との事だが、どうなっているのか。...確認する。

答弁 今年の9月の予算に計上予定である。

提言 白岩焼きを興し“焼き物の里”にして、奇跡を起こしたらどうか。

答弁 市としてもできる限り応援したい。

要望 駒ヶ岳の地温測定をできるような体制を整備して欲しい。

答弁 色々な手法を用いた体制を作りたいと考えている。

要望 武家屋敷で100円カンパを集めて、武家屋敷と桜だけに使うための財源確保をする  
ようにして頂きたい。

答弁 方向性がまだ定まっていないが、市単独では難しい。地元の団体と話し合いをして、  
検討したい。

要望 合併10周年を迎え、記念に是非NHK「のど自慢」を誘致して欲しい

答弁 これまで誘致のための活動をしてきたが、残念ながら漏れてしまった。今後も誘致  
活動を展開していく。

要望 紙風船館の隣で「わくわくマーケット」として、地域で屋台をやっているが、市に  
賃借料を支払っている。無料にならないのか？

答弁 女性だけの団体で地域のために活動していることは承知しているが、営利的な事業  
活動であり、他の地域でも同様な団体から賃借料を徴収しているので、条例上無料に  
することは出来ない。

要望 デマンドタクシーで、以前、交通事故が発生したようだが、安全には、十分注意して欲しい。

答弁 これまで交通安全には十分留意するように指導してきたが、残念ながら事故が発生してしまった。引き続き事故防止のため厳しく指導監督をしていく。

要望 地元清掃企業が市の入札に参加できるようにしてほしい

答弁 登録/発注業者の確認を徹底し、地元業者が入札に参加しやすくなるようサポートしていく。